

# 2016年度 環境活動レポート

(対象期間 2016年5月1日～2017年4月30日)



猿尾滝

発行日：2017年6月20日

株式会社 **西村工務店**

## 1. 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

(2) 所在地

[ 本社 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 17 番地  
[ 森脇倉庫 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 192 番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 西村 昌樹  
連絡先 電話 0796-96-1136 F A X 0796-96-0832

(4) 業種及び事業活動内容

建築工事業、土木工事業

(5) 事業規模

年間売上高 10 億 9,288 万円 (2016/31 期、前年 12 億 672 万円 )  
従業員数 21 人 (2017. 5. 1 現在、前年 21 人)  
床面積 1937. 96 m<sup>2</sup>

(6) 建設現場等の概要 (2016 年度)

建築工事 185 件 (前年 149 件)  
土木工事 73 件 (前年 74 件)

## 2. 認証登録範囲

(1) 株式会社 西村工務店の上記 (1) ~ (4) までとする。組織の概要は、様式 6.1 に記載する。

(2) 当社の決算年度は、毎年 5 月 1 日より、翌 4 月 30 日までとなっており、エコアクション 21 の活動の期間もそれを基準とする。

### 3. 環境方針

株式会社 西村工務店 環境方針

当社は経営理念『快適で安心していただける環境づくり』のため、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

1. 建設工事に伴う環境負荷の低減（二酸化炭素排出削減、排水量の削減）に努めます。
2. 建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動およびグリーン購入を推進します。
3. 環境に配慮した製品、サービスを提供します。
4. 関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。
5. 生物多様性に配慮した事業活動を展開します。

本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

改訂日 2016年5月1日

制定日 2008年8月18日

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

#### 4. 環境目標とその実績、次年度取組内容

(1) 当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度	2016年度目標(5月~4月)	2017年度 目標	2018年度 目標
			2016年度通期実績(5月~4月)		
1-1	二酸化炭素排出量削減 (電力使用量の削減)	2009年度 15,371kg-CO2 (29,391kWh)	10,689kg-CO2 (21,000kWh)	10,485 kg-CO2 (20,600kWh) (‘09年度比23%減)	10,584 kg-CO2 (20,600kWh) (‘09年度比24%減)
			11,174kg-CO2 (21,954kWh)		
1-2	二酸化炭素排出量削減 (ガソリン車両燃費の向上)	2010年度 47.7%	達成台数率 53.0%以上	達成達成率 54.0%以上 (継続実施)	達成台数率 55.0%以上 (継続実施)
			Σ達成台数 126台/Σ全台数 200台 =63%		
1-3	二酸化炭素排出量削減 (軽油車両燃費の向上)	2013年度 51.4%	達成台数率 62.0%以上	達成台数率 63.0%以上 (継続実施)	達成台数率 64.0%以上 (継続実施)
			Σ達成台数 32台/Σ全台数 39台 =82%		
	二酸化炭素排出量総量	2014年度 181,459 kg-CO2	181,000-kg-CO2	181,000 kg-CO2	181,000 kg-CO2
			358,562 kg-CO2		
2-1	産業廃棄物排出量削減 (リサイクル率の向上)	50 m <sup>3</sup> (2014年度)	47 m <sup>3</sup>	46 m <sup>3</sup>	45 m <sup>3</sup>
			31.2 m <sup>3</sup>		
2-2	一般廃棄物排出量削減 (紙資源使用量の削減)	2011年度 85,000枚	71,300枚	71,000枚 (‘11年度比15%減)	70,500枚 (‘11年度比17%減)
			125,774枚		
3	総排水量の削減	2011年度 133m <sup>3</sup>	128m <sup>3</sup>	127m <sup>3</sup> (‘11年度比3%減)	126m <sup>3</sup> (‘11年度比3%減)
			201m <sup>3</sup>		
4	グリーン購入品目の増加	2016年度 50%	50%	51% (‘11年度比8項目増)	52% (‘11年度比9項目増)
			59%		
5	FP住宅の販売棟数の増加	2011年度 0棟	2棟	2 (‘11年度比+2件)	2 (‘11年度比+2件)
			1棟		

(注1) 電力使用による二酸化炭素の排出係数を 0.509kg-CO2/kwh とした

(注2) 達成台数率とは、当社が所有している車の全数から、それぞれの車に定められた目標値に対して、達成できた車の台数を除したもの(台数×測定月数)

(注3) FP住宅とは、FPコーポレーションが推進する高気密高断熱工法を用いた住宅のことである。

(2) 主な環境負荷

No.	環境負荷	単位	2016 年度	2015 年度	2014 年度
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO2	358,562	260,021	181,459
2	一般廃棄物排出量	t	9.68	9.48	5.22
3	産業廃棄物排出量	t	1,723	233	532
4	総排水量	m3	234	164	201
5	エネルギー使用量	MJ	5,087,856	3,640,412	2,715,276
6	資源等使用量	t	6,317	7,233	6,015

## 5. 主要な環境活動計画、取り組み結果とその評価及び次年度の取り組み内容について

No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成状況 (24/5～25/4)	評価	次年度の取り組み事項
1-1	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの不使用时の電源オフ徹底</li> <li>・薪ストーブのフル活用</li> </ul>	目標：21,000kWh 実績：21,954kWh	未達成 あと、目標まで5%及ばなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率照明の導入</li> </ul>
1-2	ガソリン車燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄なアイドリングを無くする</li> <li>・エコカーの導入</li> </ul>	目標：53%以上 実績：63%	達成 高燃費車に切り替えが進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高燃費車種の導入</li> </ul>
1-3	軽油車燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄なアイドリングを無くする</li> </ul>	目標：62%以上 実績：82%	達成 高燃費車への切り替えが進んだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員への教育の徹底</li> </ul>
2-1	産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> </ul>	目標：47 m <sup>3</sup> 実績：31.2 m <sup>3</sup>	達成 分別意識の浸透が進んだ結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> <li>・意識変革</li> </ul>
2-2	紙資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDF化の推進</li> </ul>	目標：71,300枚 実績：125,774枚	未達成 安易に印刷化してしまうこと原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルのクラウド化、タブレット化</li> </ul>
3	総排水量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに蛇口を閉める</li> </ul>	目標：129 m <sup>3</sup> 実績：201 m <sup>3</sup>	未達成 漏水原因が突き止められなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水便器の導入</li> </ul>
4	グリーン購入品目の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入前にグリーン品であるかどうかを確認する</li> </ul>	目標：50% 実績：59%	達成 意識啓発がすすんだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員への教育の徹底</li> </ul>
5	FP住宅の販売件数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業訪問時に、必ず説明を行う</li> </ul>	目標：2棟 実績：1棟	未達成 社員の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略の見直し</li> </ul>

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。平成23年度より1年間集計し6月までに報告書を提出。	遵法
2	建設リサイクル法	発注者への計画等説明書（工事着手する日の7日前まで）と完了報告書。	遵法
3	建築基準法	確認申請書を提出して建築主事の確認を受け、確認済証の交付を受ける。	遵法
4	騒音規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
5	振動規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
6	河川法	1日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合は河川管理者に届出書提出	遵法
7	フロン排出抑制法	フロンの漏洩がないよう、定期点検を実施する	遵法

### (2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

ゼロエネルギー住宅など、国として、低エネルギーの住宅施策が進行しているが、その施策を社内として十分取ることができておらず、結果住宅販売における低酸素型の商品販売が推進できていない。社内・社外を含め、国策としての住宅施策の理解促進に努めていきたい。

倉庫等の（整理整頓）整備は、かなり進歩し、効率的な働き方ができるようになってきた。しかし事務所・現場事務所等において、書類等が乱雑で、効率化が発揮できていない。コピー用紙等、紙資源の削減のためにも、社内の書類等の整理をさらに進めなくてはいいけない。

『働き方改革』が叫ばれており、当社においても長時間労働の是正は急務である。各地に現場が点在する建設業にあっては、ICT 技術も活用しながら、テレワークを実現できるような環境を整えることで、エネルギーの削減にもつなげていきたい。

グリーン購入の目標設定について、以前は、社内で日常的に購入している物品一つ一つに対して、ラベル確認を行い、それを一つずつ積み上げることを目標設定に行っていた。しかし、当社で取り扱う物品はそれ以上であり、実際の目標管理については脆弱なところがあった。このため期の途中であったが、目標設定そのものを見直し、より実効性のある目標に作り替えた。この内容については、有益な変更であったと理解している。

### 【全体総括】

エコアクション 21 の取り組みを始めて、年数は重ねているが、各車両の燃費の管理について全員参加はできているものの、それ以外では、まだ全員参加にはなっていない。

今後においては、一人ひとりが十分な参画ができるよう浸透していくための取り組みを強化していきたい。

以上